

2023年は、飯田を拠点に活動する和太鼓TOKARAにとって再び世界へ歩み出せた特別な1年でした。リーダーアート・リーの芸歴30周年にあたり、実に4年ぶりのヨーロッパツアーから、先日帰国しました。オランダ、スイス、フランスでワークショップ、アムステルダム公演、スロベニアで初ワークショップと公演。そしてツアー最後にベルギーでのワークショップとフルコンサート。多くの懐かしい太鼓仲間と新しい太鼓ファミリーに出会え、充実した時間と沢山の笑顔をお土産に。6週間の滞在記とTOKARAの近況を、ここにご報告させていただきます。

スロベニアを訪れて

滞在先として用意してくれたアパートの前でイヴァンさんは大きな紙袋を抱えて待っていました。私達のために用意くださった、スロベニアの味がいっぱい詰まったその袋からは、この日をずっと待っていてくださった彼の気持ちも溢れていました。

初めて訪れたスロベニアの首都リュブリャナで同国唯一の太鼓チーム“道天太鼓”とTOKARAの週末が始まります。それは金曜日のジョイントコンサートと土日のワークショップ。このコンサートは道天太鼓にとっても記念すべき初めてのコンサートでした。



スロベニアという国、それがヨーロッパでどこにあるのかを、地図で指し示せる人も、そう多くはないと思います。イタリアの東、オーストリアの南、ハンガリー、クロアチアの西と接し、西側のほんの一角を、アドリア海に面した四国ほどの大きさの国です。



2つの和太鼓チームの直接の出逢いは今年3月まで遡ります。イヴァンさんが日本を訪れTOKARAの和太鼓合宿「ブートキャンプ」に参加した事がきっかけでした。和太鼓をはじめて1年目の彼が本場で本格的なワークショップに参加したいと来日されました。以前は大学で打楽器を教えていらしたそうです。それでも和太鼓三昧の日本での1週間は心身共にとても過酷な経験だったと振り返ります。同時に太鼓への情熱が燃え上がり今回の“道天太鼓&TOKARA初公演”に繋がりました。

ジョイントコンサート当日、首都リュブリャナから15分も車で移動すると周囲はまるで片田舎。ひっそりと佇む町の小さな劇場は1933年に建てられた趣ある建物でした。



勿論公演には初めて和太鼓を観る方が殆どです。ただ終演頃には皆さん手拍子や掛け声で参加くださり興奮された様子で帰路につかれました。和太鼓がまた世界に少し広がった瞬間に立ちあう事が出来ました。これからがとても楽しみです。

これはほんの一例ですが、私達は、実は大変多くの皆さん同じような経験をしています。来日やワークショップ参加を機に世

界中に太鼓の輪が広がっているのです。今回の新しいご縁に感謝してまた来年の再会を誓って後ろ髪をひかれつつ私達はリュブリャナを後にしたのでした。

「紫陽花」の人

シビルさんとの出逢いは2012年。彼女は初めてスイスからTOKARAの1週間情熱和太鼓合宿に参加された女性です。

その年から毎年、自分が率いる“ご来光太鼓”に招いてくれました。そして毎年決まって「新しい曲を教えてください。」と言うのです。スイスに通い続けた数年後からTOKARAリーダー・アート・リーにとっての挑戦が始まりました。「ワークショップで提供出来る新曲を作る！」と言う挑戦です。アート曰く「ワークショップの2日間で習えてTOKARAらしい曲を作るのは簡単では有りません。そして皆さんにとって楽しく、学ぶ人にとってもチャレンジングな曲。」これが毎年のテーマでした。そしてシビルさんもお来光太鼓の皆さんもTOKARAメンバーもとても楽しみにしていた事でした。

しかしコロナ禍の折、私達はご来光太鼓メンバーから哀しい知らせを受けました。新しい曲を、笑顔で、肩を揺らしながら叩くシビルさんの姿をもう見ることは出来ません。でも残されたメンバーは彼女の意思を引き継いで、チームを、太鼓を、続けていく決意をされました。

そして今年、特にこのツアーに向けてつくられた新曲「紫陽花(あじさい)」は、今はもうこの世にいないけれど、紫陽花の様に咲き続ける優しく美しい魂と精神を持ち合わせたシビルさんを想って作曲した曲です。

紫陽花の花が連なる様に左右に揺れながら叩くこの曲は音楽学校で打楽器を教えていた彼女がきっと喜んだであろう和太鼓打ち泣かせな難しい曲です。けれどグルービーで踊れそうな楽しい曲だと思います。

この曲を今回のツアー中、他のワークショップでも教える機会がありました。そして私達TOKARAも20周年のステージで披露させて頂きます！今後さらに「紫陽花」の花が咲いて世界中に広がっていくことを願っています。

和太鼓

ツアー中に出会った太鼓達。

日本ではチームや地域、学校など団体が太鼓を所有されている事が多いですが、海外ではそれぞれ自分の太鼓を持っている方に多くお会いします。

ワークショップの折も皆さんそれぞれに太鼓持参でみえて、会場には色々な太鼓が集まります。

そんな中この右の太鼓。木目が横に有り、つい目をとめてしまいました。

イタリアの職人さんの作られた太鼓。音の響きを考えて胴の中も拘って掘られているそうです。(中は覗けませんでした。)

かわって右下は、スイス産の和太鼓です。アルプスの木にアルプスの牛の皮が張られています。使い手から「スイスで和太鼓をするならスイスの材料で作る奏でたかった。」とお聞きしました。



以前日本の太鼓職人の方が「国が違うと牛皮の質も違います。」とおっしゃっていました。なので海外に太鼓の皮の張り替えに行く時も必ず日本の皮を持参されるそうです。

全ての職人さんの拘りと情熱を感じます。イタリアの太鼓もスイスの太鼓も情熱を込めて大切に作られ、使われています。和太鼓には作り手とそれを使った全ての打ち手の想いが宿っていると感じます。そこに、どちらが本物とかどちらが素晴らしいと言う事は有りません。

長年、日本ではない国で、和太鼓を通して多くの人に逢い、多くの事を学ばせて頂きました。和太鼓にも国境がなくなる事、世界の音楽芸術として認められる日が早く来る事を願ってやみません。相互理解と尊重の大切さを実感します。微力なれど和太鼓を通して、私達にも少しでも繋げる役割が果たせるならと思うばかりです。

2日間でPOP!?!

TOKARAの演奏曲に「POP」と言う曲が有ります。最近アンコールでも登場するのでTOKARAの公演にいらして下さった方はご存知でしょうか？このPOP、先に紹介したシビルさんがきっかけでできた曲ですが、リーダー・アート曰く「簡単な曲」と思って作ったそうです。それがなんのどうして、イントロからはじまって6パートから成る大曲になってしまいました。普段この曲は、1週間以上の合宿の際、参加者の皆さんに紹介しているのですが、習得すると本当にポップで手拍子出来るととても楽しい曲です。作曲以来5年程経ち、皆さんが噂を聞きつけて今回のツアーでは「週末の2日間のワークショップでPOPが習いたい!!」と言う依頼が!!それも。。2回も!これにはアートも「2日間で到底出来ません。。」とは言えません!参加者にとっても指導者にとっても挑戦の2日間です。

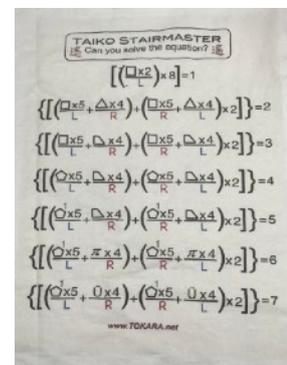
普通、多くの太鼓の曲は「ドン」と「コン」で歌いながら伝承されます。ドンが右手、コンが左手で「ドンコンドンコンドコンコドン」と歌えば、歌った様に叩くと言う方法です。ただ楽譜にして何ページにも成る複雑な曲は、なかなかそうもいきません。そこでTOKARAリーダー・アート・リーの指導方法の特徴は楽譜以外の物が沢山登場するという事です。これがまたユニークでビタミンA、B、Cに始まり、ピッツアを作り、次にハンバーガー屋さんでハンバーガーとフライドポテトとシェイクを頼みデザートにベルギーワッフルを食べてお茶を飲む、その後、日本に渡って、寿司屋へ走り、寿司5皿頼む。。。と言った感じです。ワークショップに参加しない限り何のことやら??なこの文脈もPOPを習った人なら楽譜に早変わり。

他にも、TOKARAオリジナル練習用ドリル「太鼓階段マスター」の楽譜は数式に。伝統曲「ぶち合わせ太鼓」はハンバーガーに。

こうしてTOKARAのワークショップは行われているのです。

かくして2日間のPOPチャレンジも参加者の皆さん無事に制覇され、達成感に満ちた笑顔が印象的でした。

11月6日。オランダに降り立った私達は、6週間で8カ国





を駆け抜けて、オランダ、スイス、フランス、ベルギー、ドイツ、スロベニアにて3公演と10ワークショップ。

ヨーロッパを南へ北へ東へ西へ。走行距離、8000kmに及んだ2023年秋TOKARAツアーは、皆さんとの近い再会を願いつつ、無事に幕を閉じたのです。



TOKARA
20周年記念世界ツアー

長野県飯田市
2月11日(日) 開場 15:00 開演 15:30
飯田市鼎文化センター

飯田市鼎文化センター ホール
2/11 (日) 開場 15:00 開演 15:30
前売券期間 12月19日(火)
電話予約 0265-39-3768
【電子チケット】
全席自由 一般 3,000円 高校生以下 2,000円 【当日500円増】
予約センター www.tokara.net/20/
チケット販売所
■平安堂飯田店 ☎ 0265-24-4545
■平安堂鹿角寺店 ☎ 0265-23-4646
■TOKARA(予約のみ) ☎ 0265-59-0768
teket <https://teket.jp/902/2776/>

【後援】 飯田市、飯田教育委員会、信濃毎日新聞社、中日新聞社、飯田ケーブルテレビ、飯田新聞社

帰国の後、

来年2024年、TOKARA20周年がやって来ます！！

現在、私達は来年の公演に向けて始動しています。

初演は2月11日鼎文化センターにて。20周年の節目の年に、飯田、名古屋、松本、カナダ、ヨーロッパ。。。メンバー全力で邁進して参ります。

是非TOKARAが近くに伺う機会があれば会場でお会いしましょう！